

Fileforce 導入事例その後

朝日税理士法人 様



Fileforceの導入から3年、劇的な業務効率化とコスト削減を実現



(左) 管理グループ 松尾 みさ子 氏 (右) 管理グループ 福山 史絵 氏

税理士業界における業務効率化とデジタル化の先駆者である朝日税理士法人（以下、同法人）は、Fileforceを導入して3年が経過しました。同法人は、東京本部のほか、城南支社、神奈川支社、福岡支社の4拠点で活動しています。

経営理念に「専門サービスを通じてクライアントの真のパートナーとなる」を掲げ、組織全体が柔軟な働き方やツール活用に対応。税理士法人として国内初のDX認定も取得し、AIやRPAの活用を通じて、クライアントへの価値提供を最大化しています。

今回は、同法人の管理グループでIT管理を担当する福山氏と松尾氏に、Fileforce導入後の変化や現場の声について伺いました。

〈過去事例インタビュー〉

<https://www.fileforce.jp/casestudy/asahitax/>



会社名
事業業種
従業員数
地域

朝日税理士法人
士業・専門サービス
100名～299名
東京都

積極的な業務効率化を支えるクラウドストレージ

ページ1 ページ2

—— 管理グループに所属する福山氏と松尾氏は、同法人のIT管理を担う中心人物です。両氏は次のように語ります。

弊社は組織全体が現場主導で業務効率化を進めています。
若いメンバーが多いこともあり、『もっとこうすれば効率的では？』というアイデアが現場から出てくる文化が根付いています。
その中で、私たちはITやデジタルツールの導入を支える役割を担っています。



福山 氏

Fileforceのようなクラウドストレージも、導入前は不安がありましたが、実際に使ってみるとその利便性に驚きました。
日常の業務に完全に馴染んでおり、『使っている』という意識すらないという職員もいるほどです。



松尾 氏

—— Fileforce導入前は、他社のクラウドストレージを利用していましたが、うまく繋がらない時もあり、対応に苦労していたと福山氏は振り返ります。

積極的な業務効率化を支えるクラウドストレージ

ページ 1

ページ 2

ファイルフォース
松尾

Fileforce導入以前の課題について、当時を振り返って教えていただけますか？

他社のクラウドストレージを利用していたときは、『繋がらない』『重い』という声が多かったです。
その度に対応を急ぐ必要があり苦労していましたね。
今ではFileforceが当たり前に使える空気のような存在になっています。
システムが安定していることで、私たち管理者の負担も大幅に軽減されました。



福山 氏

プロジェクトフォルダの活用で、データ共有が効率化

[ページ1](#)[ページ2](#)[ページ3](#)

- Fileforce導入から3年が経過し、同法人の業務においても多くの変化が生まれたといえます。その中でも特に重要な機能が「プロジェクトフォルダ機能（フォルダ共有機能）」です。この機能によって、データ管理やファイル共有が効率化したといえます。



ファイルフォース
松尾

Fileforceの中で、特に活用いただいている機能について教えてください。

Fileforce導入当初、弊社ではプロジェクトフォルダの利用は検討段階にとどまっていた。しかし、現在では約200件のプロジェクトフォルダが稼働し、クライアントとのファイル共有において重要な役割を果たしています。



福山 氏

- さらに福山氏は、過去の課題を振り返りながらこう続けます。

プロジェクトフォルダの活用で、データ共有が効率化

[ページ1](#)[ページ2](#)[ページ3](#)

以前は会計データをやり取りする際に、パスワード付きのメール添付を利用していたのですが、容量制限の問題で運用に支障が出ることもありました。現在はプロジェクトフォルダを活用することで、安全性が確立されたセキュアな接続環境下において、継続的な顧問契約のクライアントとのやり取りが格段にスムーズになり、スポット業務でも短期間で必要な情報を整理・共有できるようになりました。



福山 氏

- プロジェクトフォルダの構成はクライアントごとに分かれており、その下に具体的なプロジェクトを管理するフォルダを作成する仕組みになっているとのこと。この作成プロセスは厳格に管理されており、システム担当の福山氏と松尾氏の2名のみが権限を持っているといいます。

フォルダ作成は、申請フォームにフォルダの場所や名称、社外・社内ユーザー等を記載いただき、私達が作成します。また、1年に1回の見直しを行い、不要なフォルダを整理するなど、情報の整理を徹底しています。



福山 氏

プロジェクトフォルダの活用で、データ共有が効率化

[ページ1](#)[ページ2](#)[ページ3](#)

—— 松尾氏は、管理体制の厳格さが業務効率化の鍵だと指摘します。

全員がアクセス権限をフルコントロールで作成できると、フォルダ構成が混乱する恐れがあります。そのため、アクセス権限を限定しつつ、運用を安定化させることに注力しています。



松尾氏

朝日税理士法人-プロジェクトフォルダ資料

<社内ポータルサイト説明内容>

ファイルフォース

- [【総務宛】共有フォルダ設定申請書](#)
(DL→担当PをCCに入れてメール送信すること)
- [【社外展開用】共有フォルダご利用方法](#)
- [【社内用】共有フォルダ利用案内](#)
- [FF共有フォルダー一覧](#)
- [共有フォルダ延長確認 \(2024年12月対象分\)](#)

※社内ポータルサイトに説明を記載

<延長確認>

No.	利用終了日	索引文字	クライアント	延長について	申請者	フォルダ名	パス
1	2024/12/16	え	ABC	延長希望	田中	株式会社ABC様_共有フォルダ	Z:¥全社共有¥999_共有リンクテスト¥株式会社ABC
2	2024/12/16	あ	あああ	終了	佐藤	あああ株式会社様_共有フォルダ	Z:¥全社共有¥999_共有リンクテスト¥あああ株式会社

※延長確認を徹底することで不要なフォルダも正確に管理

<設定項目依頼フォーム>

社外との共有フォルダ設定申請					
申請者名		申請日	年	月	日
作成場所					
フォルダ名					
利用終了日		年	月	日	
社外メンバーのメンバー一覧表示	許可する	/	許可しない		
共有フォルダを利用する社内ユーザ					
共有フォルダを利用する社外ユーザ					
	メールアドレス	氏名	会社名	部署名 (省略可)	
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

※依頼フォームに従って入力し、総務へ提出する運用

朝日税理士法人-プロジェクトフォルダ資料

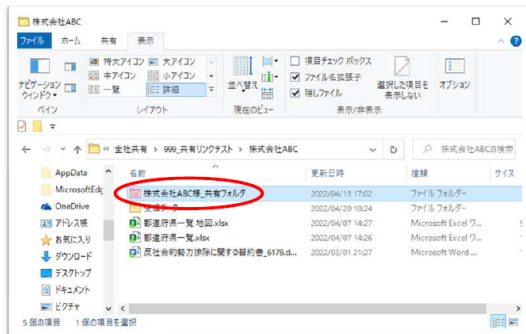
ページ1

ページ2

<社内向け利用マニュアル>

1. 機能説明

- ・ 社内外のユーザとファイルやフォルダを共有するためのフォルダです
- ・ 区別するため、**フォルダの色はピンク**です
- ・ 社内ユーザは、FFドライブから、通常(Windows エクスプローラ)の操作となります



- ・ 社外ユーザ(クライアント)は、FFweb(ブラウザ)から、ID・PWを入力して利用します
※社内(Windows フォルダ・エクスプローラ)とは利用環境が異なります

2. 共有フォルダの設定方法について

- ・ フォルダの新規設定は、社内ポータルにある申請書に必要事項を記入の上、システム担当(福山・松尾)までメール添付で送信ください。**必ず、担当パートナーをCCに入れてください。**
- ・ 設定が完了したら申請者に連絡します。社外ユーザへ招待メールを送るタイミングをお知らせください。システム担当より、先方へ招待メールを送信します。
- ・ 社外ユーザが招待メールからログインすると、共有フォルダが利用できます。

3. 利用方法

- ・ **データの受渡し用の一時的なスペース**としてご利用ください。
- ・ 共有フォルダ内のデータは**常に社外から見えます**ので、このフォルダ内で**ファイルの編集はできない設定**になっております。このフォルダ内では編集作業せず、別の場所で作成した最終データを格納するようにしてください。
- ・ 受領データは別の場所に移動させ、**利用後は共有フォルダ内のデータを削除**してください。
- ・ 通知機能はありませんので、データをアップロードした際には先方に連絡してください。
- ・ 社外ユーザ向けに、共有フォルダご利用方法のご案内(マニュアル)を社内ポータルに用意しました。先方への説明の際に活用ください。

<社外向け利用マニュアル> ※一部抜粋

5. 共有されているフォルダが表示されます。ファイルをアップロード/ダウンロードするときは、それぞれのボタンを押下してください



※社内向けに作成されたマニュアル（一部抜粋）

Fileforceがもたらした劇的な業務効率向上

[ページ1](#) [ページ2](#)

- かつて同法人では社内ファイルサーバーを使用していましたが、ネットワークの不安定さや運用の煩雑さが大きな課題でした。その後、他社のクラウドストレージを採用したものの、速度や安定性の問題は依然として解決されなかったと、福山氏は当時を振り返ります。

他社のクラウドストレージを利用していた頃は、接続が遅い、あるいは繋がらないといったトラブルが頻発していました。

特に業務開始時には専用ツールを立ち上げて接続する必要があり、これが毎朝のストレスになっていました。また、アクセス権限の設定はCSVを用いて行っていたのですが、反映に一晩かかることもあり、管理業務が煩雑でした。



福山 氏

- こうした課題は、Fileforceの導入によって劇的に解消されたといいます。

Fileforceを導入してからは、専用ツールの立ち上げが不要になり、常に安定した接続が確保されています。検索速度も大幅に向上し、作業が2倍、3倍の速さで進むようになりました。

以前のようなストレスから解放されただけでなく、アクセス権限の設定も即座に反映されるようになり、管理者としての負担が大幅に軽減されました。



福山 氏

Fileforceがもたらした劇的な業務効率向上

[ページ1](#)[ページ2](#)

—— 社外のクライアントへのFileforce導入を推進する中で、サポートが必要になるケースもありましたが、マニュアルを作成することでスムーズな運用が実現したとのことでした。



ファイルフォース
松尾

導入後、運用する中で苦労した点がありましたか？

クライアントから『使い方がわからない』という声があったため、私たちがマニュアルを作成しました。特にサブフォルダの構成やアクセス方法について丁寧に説明することで、問題なく使っていただけるようになりました。



福山 氏

—— クライアントからのセキュリティに関する問い合わせにも、自信を持って対応できるといいます。

「セキュリティチェックシートの提出を求められることは多いですが、Fileforceの堅牢性やアクセス制御機能について詳しく説明することで、安心してご利用いただけています。



福山 氏

Fileforceの多面的な効果はコスト削減にも貢献

[ページ1](#) [ページ2](#)

- Fileforceの導入によって、コスト削減の効果も現れました。同法人では、以前はプロジェクトフォルダに相当する外部共有用のツールを別途契約しており、ストレージ容量の追加に伴うコストが課題になっていたといいます。

「Fileforceを導入する以前は、別の共有ファイルサービスを利用していましたが、容量が限られており、追加するたびにコストがかさんでいました。

また、バックアップのために同じ容量を持つストレージを契約する必要があり、これが二重コストの原因となっていたのです。



福山 氏

- しかし、Fileforceの機能をフル活用することで、外部共有用のツールやバックアップ用ストレージの契約が不要となり、ストレージに関連するコストを大幅に削減することができたといいます。



ファイルフォース
松尾

Fileforce導入後、定量・定性的に効果が得られたと感じられることはありますか？

Fileforceの多面的な効果はコスト削減にも貢献

[ページ1](#)[ページ2](#)

Fileforceのバージョン管理機能やごみ箱機能を活用することで、誤って削除したファイルの復元が容易になったため、バックアップ用のストレージ契約が不要になりました。その結果、実質的にコストが半分になったと感じています。



松尾 氏

- 職員が誤ってファイルを削除してしまった際には、ログ機能を活用して復旧を行っていましたが、誤操作が減少したことで、ログ機能を使う頻度も減っているとのこと。

職員もFileforceを違和感なく利用できているため、ほとんど問い合わせはありません。稀にファイルを誤って削除してしまった場合に問い合わせがあり、誰がどのファイルを操作したのかをログで確認して復旧していました。ただ、誤操作自体が減ったこともあって、ログを確認する機会も少なくなりましたね。



松尾 氏

- 導入から3年が経過した今、Fileforceは日常業務において欠かせないツールになっているといいます。

プロジェクトフォルダが一部整理されていないため、メンバーに『綺麗にしてね』と呼びかけています。必要なファイルの保存場所であり、保管スペースではないことを意識付ける必要があります。今後はクォータ設定などの容量管理機能の活用も検討していきます。



福山 氏

新しいツールを導入する際に重視する点

—— 最後に、システム担当者として、新しいツールを導入する際に重視する点について、お聞きました。

日々使うものなので、ユーザーがストレスなく、自然に使えるかどうかが最も重要です。
Fileforceはエクスプローラーで操作できる点が大きな決め手でした。
ダウンロードやアップロードを強いられる仕組みでは、業務効率下がってしまうためです。



福山 氏



ファイルフォース
松尾

本日は貴重なお時間をありがとうございました。
これからも安全、快適にご利用いただけるよう、
サポートさせていただきます！

ポイント

改善された 課題

- ツールを利用した接続や接続の不安定さがユーザー、管理者ともに負担であった
- CSVを用いたアクセス権限設定の反映に時間がかかっていた
- 外部共有用ツールやバックアップ用ストレージを別途契約しており、二重コストが発生していた

導入効果

- 自動で接続され常時安定した接続が実現し、作業速度が向上した
- アクセス権限の設定が即時反映されるため、管理者の負担が大幅に軽減した
- バージョン管理やごみ箱機能により、バックアップ用ストレージが不要となり、ストレージ関連のコストを削減できた

Thank You



<https://www.fileforce.jp/>